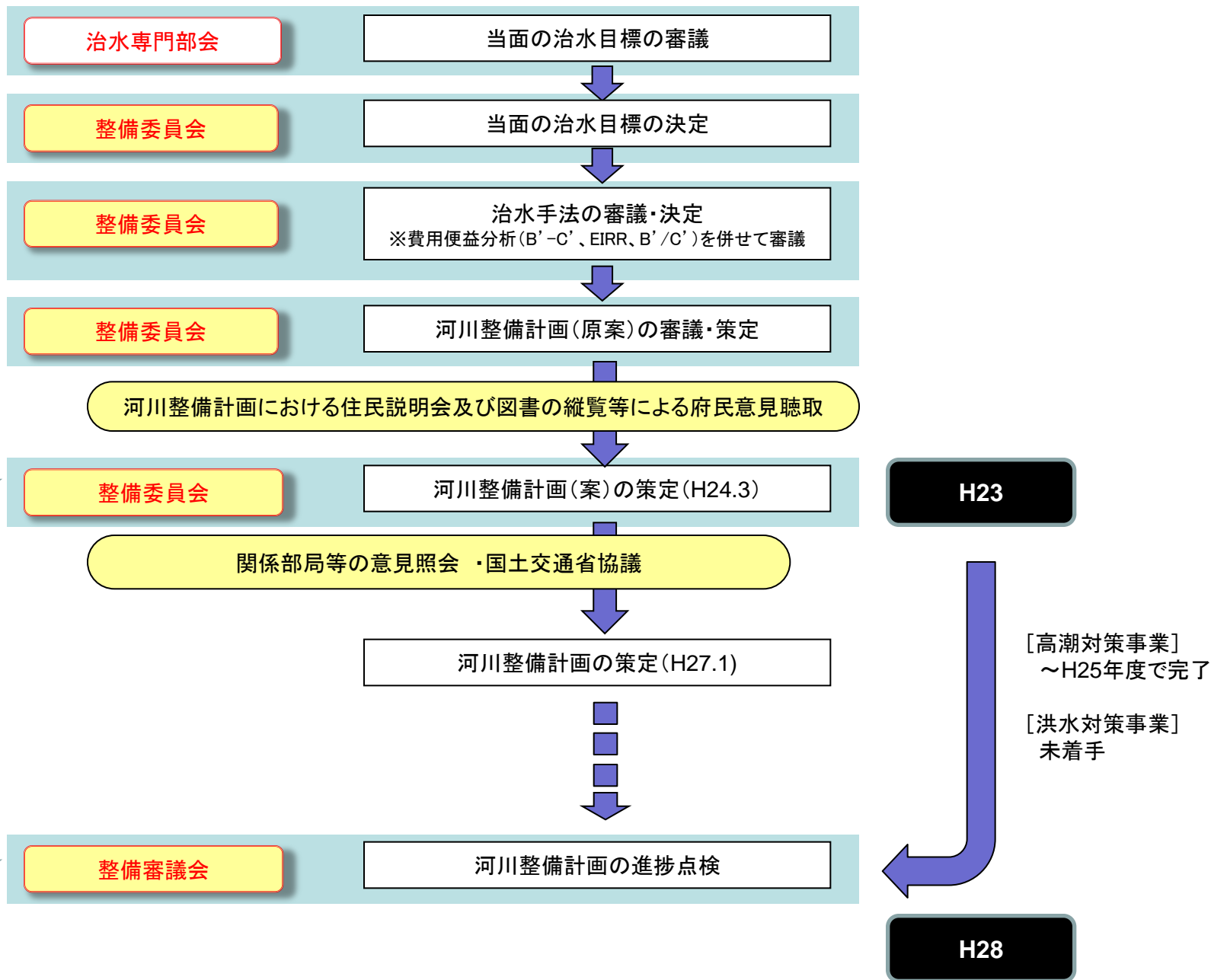

大川水系河川整備計画の進捗点検について

1. 大川の審議の経緯
2. 大川の概要（流域の概要）
3. 河川整備の概要
4. 河川整備計画の進捗点検について

1 大川の審議の経緯



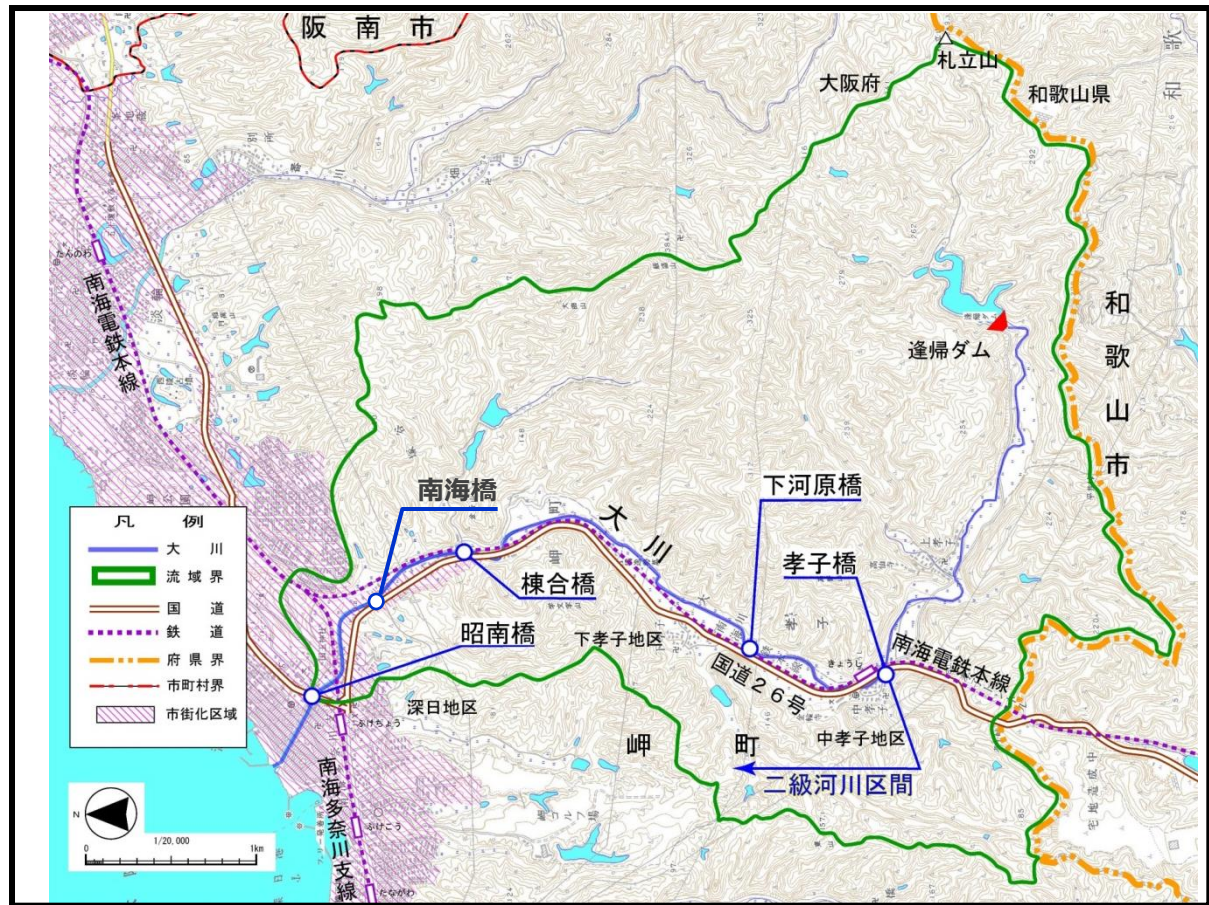
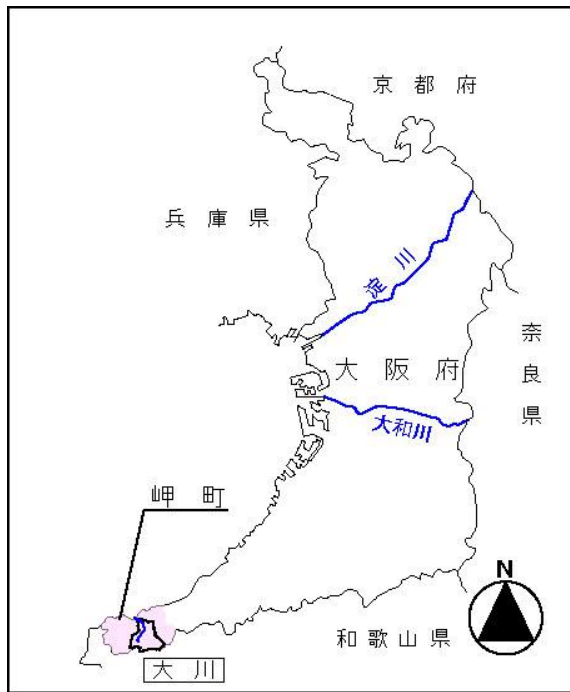
2 大川の概要（流域の概要）

流域の概要

・大川は、その源を大阪府泉南郡岬町の札立山に発して西に流れ、逢帰ダムを経た後に、中孝子地先で流れを北に変え、深日地先において大阪湾に注ぐ、流域面積13.7km²、指定区間の流路延長4.9kmの二級河川で、その流域は岬町に属しています。

河川名	二級河川 (km)	普通河川 (km)	合計 (km)
大川	4.9	2.8	7.7

流域面積 (km ²)	町面積 (km ²)	割合 (%)
13.7	49.0	27.9



2 大川の概要（流域の概要）

流域の景観・自然環境



アオサギ



カワセミ



セグロセキレイ



ボラ



カワムツ

河口～孝子橋までの区間には、アオサギ、カワセミ、ボラ、カワムツなどの魚類、鳥類が生息しています。



④ 中流部(河畔林)



⑤ 上流部(石積)



① 尾和橋上流(高潮区間)



② 南海橋付近



③ 中流部

大川の河口部では防潮堤が整備されていますが、上流部では自然河岸が残り、河畔林や露岩帯もみられます。

2 大川の概要（流域の概要）

近年の水害



①平成21年11月豪雨写真
（南海橋下流付近）



②平成22年7月豪雨写真
（南海橋下流付近）



③平成7年豪雨被災写真（南海橋上流）



④平成7年豪雨被災写真（中山橋上流）

3 河川整備の概要（河川整備計画の主な事業内容）

河川整備計画の計画対象区間

河川	計画対象区間	延長
大川	① 河口～昭南橋 (0.00km～0.40km)	右岸：約350m 左岸：約300m
	② 南海橋周辺 (1.05km～1.65km)	約530m
	③ 棟合橋上流～下孝子地区 (2.00km～3.70km)	約1,340m
	④ 下河原橋周辺～中孝子地区 (4.00km～4.90km)	約700m

（河川環境の整備と保全）

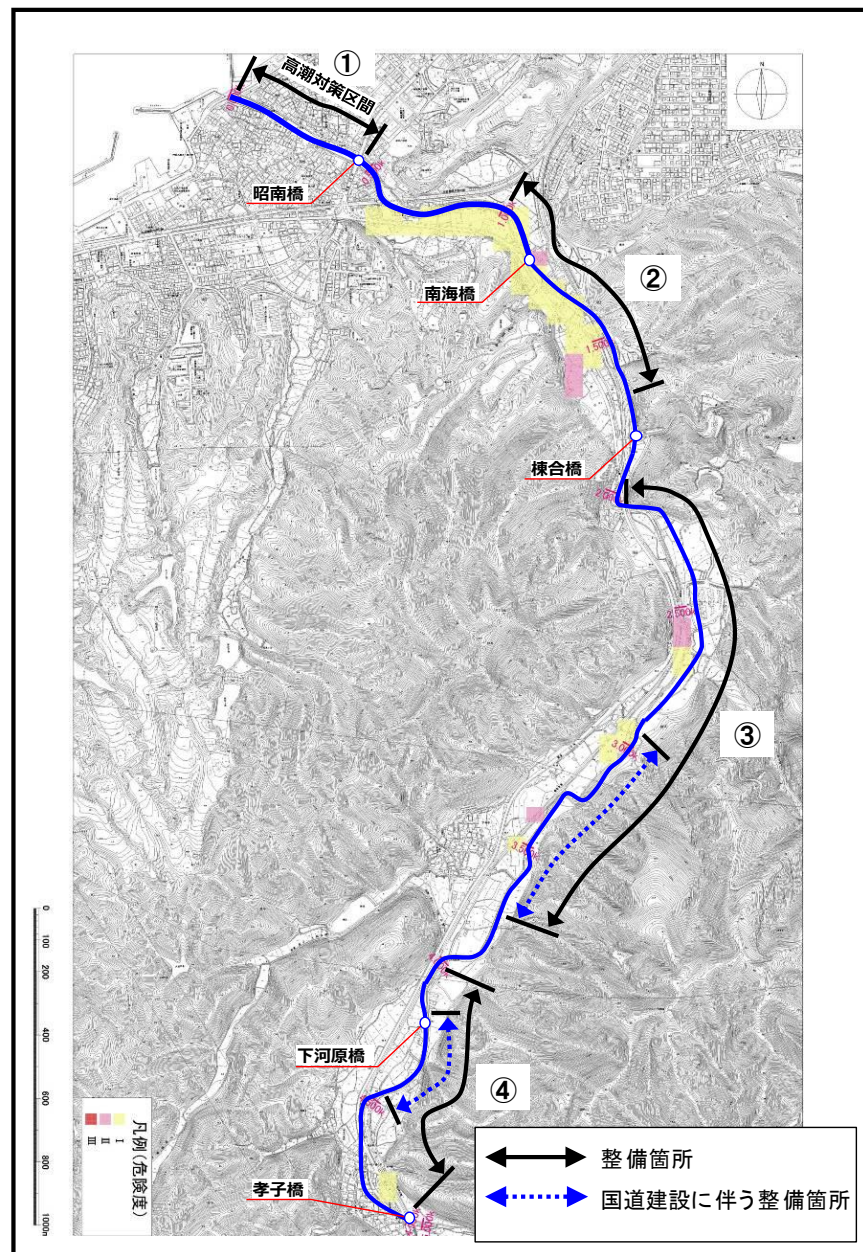
- 中・上流部では、動植物の生息・生育環境を保全・創出する。
- 下流部では、地域住民の憩いの場となるような河川空間の整備に努める。
- 護岸の整備にあたっては、護岸材料の選定に配慮するなど周辺景観と調和のとれた河川空間を創造する。

（地域や関係機関との連携）

- 流出抑制の取組み。
- 地域の住民が大川に親しみや関心を持ち河川空間が暮らしの中で活用されるよう、情報提供や住民やNPO団体などの取り組みの支援。
- 河川環境の保全・再生に向け、地域住民と連携した維持管理ができるよう努める。
- 第二阪和国道と一体的に整備を進める区間については、道路事業者に対して、周辺環境と調和のとれた計画となるよう協議する。

（河川防災情報の提供）

- 岬町と連携し、府民が的確に避難行動を取れるよう、①現状の河川氾濫・浸水による危険性の周知、②必要な情報の提供・伝達、③住民の防災意識の醸成に努める

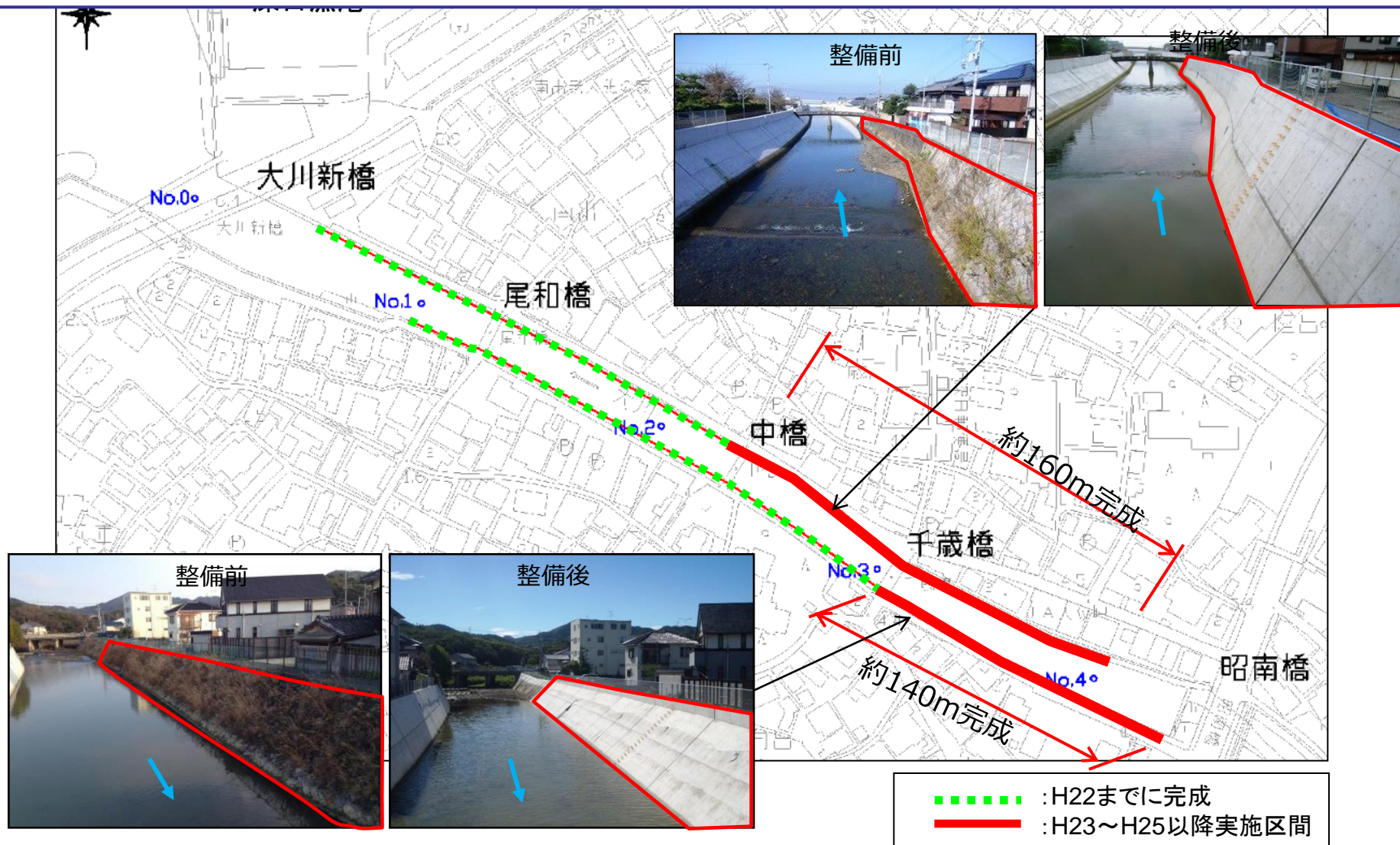


4 河川整備計画の進捗点検について

H23年度～H28年度末までの実施内容

高潮・地震・津波対策

- 河口～昭南橋の高潮区間L=400mが完成
- H23年度以降、右岸は中橋から昭南橋下流まで、左岸は千歳橋から昭南橋まで完成（H25年度）



4 河川整備計画の進捗点検について

H23年度～H28年度末までの実施内容

洪水対策

・前回からの進捗なし（国道26号建設工事に伴う工事場所は除く）



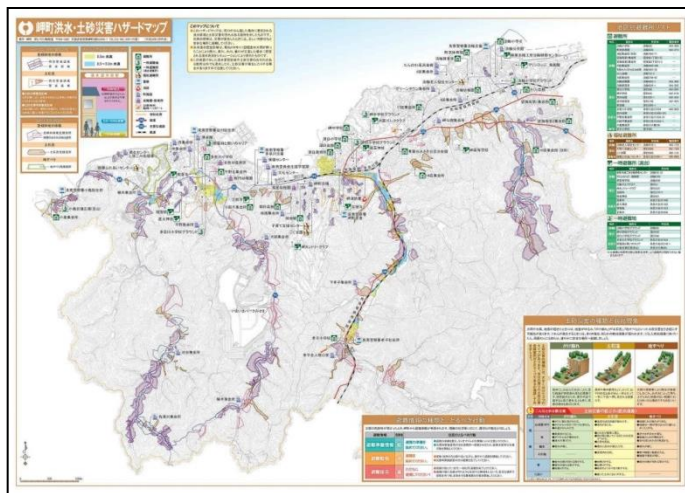
4 河川整備計画の進捗点検について

H23年度～H28年度末までの実施内容

河川防災情報の提供

- ▶ 岬町による「洪水・土砂災害ハザードマップ」の作成し、HPで公表（平成26年3月）。
- ▶ 洪水リスク表示図を公表し、地先における河川氾濫や浸水の可能性を示し、地域住民の方々と情報共有するとともに、生命を守るための避難行動に役立ててもらおう（大阪府HP）。
- ▶ 洪水リスク等に関する住民説明会を実施。

岬町洪水・土砂災害ハザードマップ（H26.3月）



洪水リスク表示図（H23.10月）



住民説明会



4 河川整備計画の進捗点検について（参考）

H23年度～H28年度末までの実施内容

地域や関係機関との連携

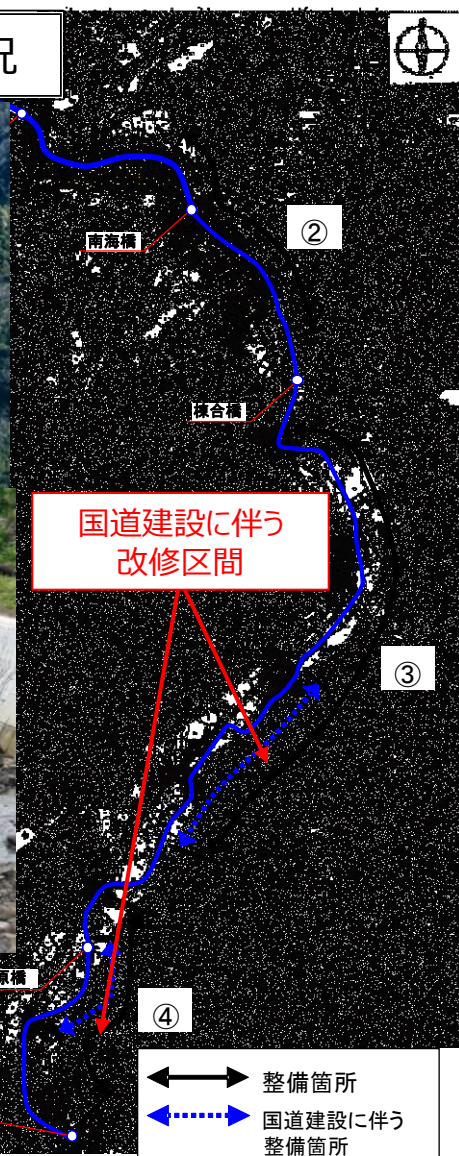


- 逢帰ダムにかかる治水機能の保持のため、農林部局と将来にわたっての適切な機能確保について、書面にて確認（H25.4）。
- 市町村開発部署に、洪水リスク表示図を常設。
- 市町村農業委員会職員協議会にて、農地転用時の洪水リスクの周知について説明を実施。

➤ 国道建設に伴う整備個所の状況



下流へ流量増とならないようフン籠で絞っている



4 河川整備計画の進捗点検について（参考）

H23年度～H28年度末までの実施内容

河川環境の整備と保全

- ▶ 国道26号建設工事に伴い実施した区間にて、河床材に石を使用しみお筋の復元や河畔林の保全などの取り組みを行った。



河床材に石を使用し、みお筋を復元



河畔林の保全

（河川環境の整備と保全）

- ▶ 中・上流部では、動植物の生息・生育環境を保全・創出する。
- ▶ 下流部では、地域住民の憩いの場となるような河川空間の整備に努める。
- ▶ 護岸の整備にあたっては、護岸材料の選定に配慮するなど周辺景観と調和のとれた河川空間を創造する。